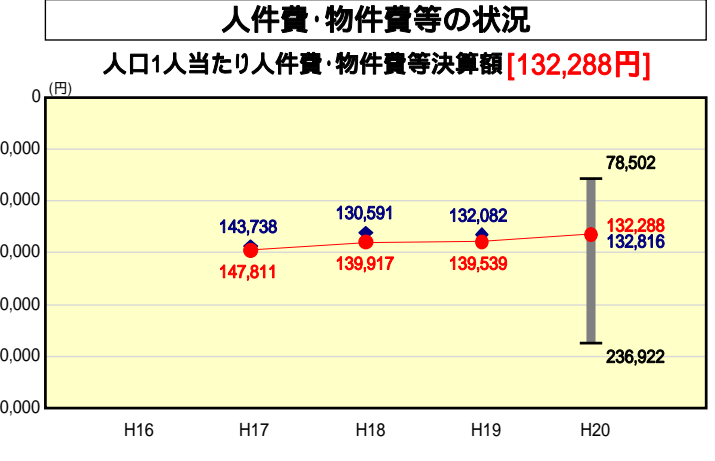
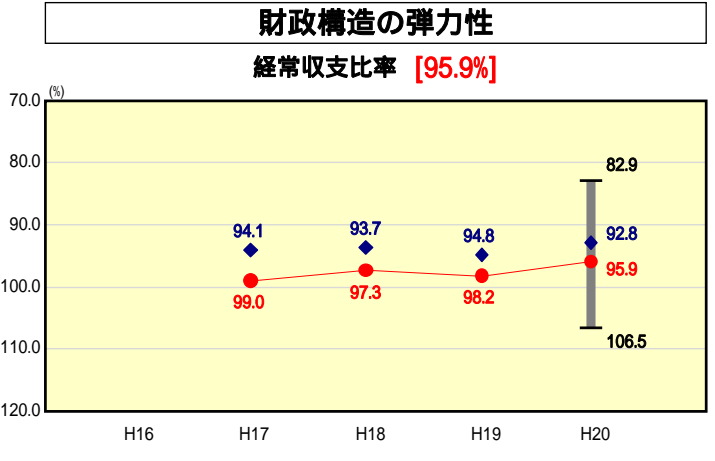
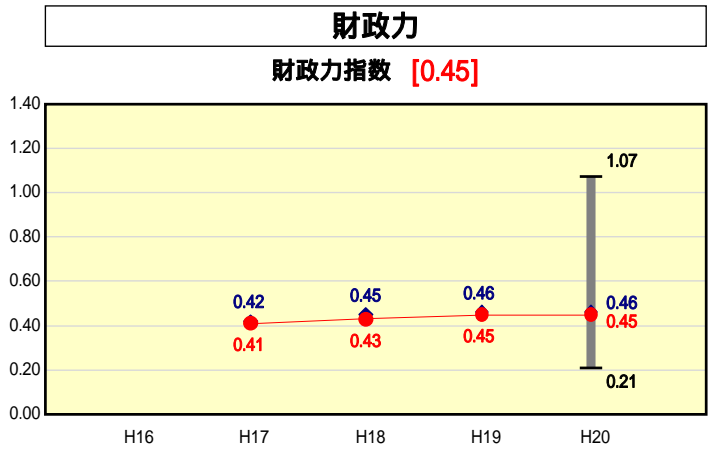


市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

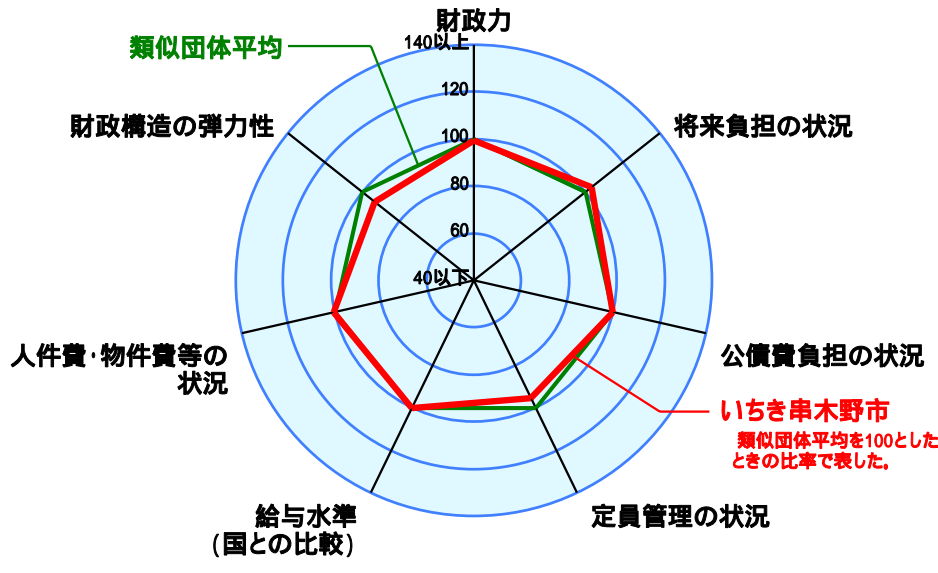
【財政力指数】
財政基盤の強化を図っているところであるが、今後とも、集中改革プランを踏まえた財政基盤の強化(歳入確保158百万円(5年間))に努め、類似団体を目標に数値の改善を図る。

【経常収支比率】
人件費、扶助費は昨年度と比較すると減少傾向にあるが、類似団体、県内団体と比較すると依然として経常収支比率は上回っている状態にある。集中改革プランに掲げた定員適正化計画に基づく職員数の減(40人)など、更なる行政改革への取組を通じて義務的経費の削減を図る。

【ラスパイレス指数】
昨年度の数値と比較すると減少しており、類似団体を下回ることができた。昨年度に引き続き職務・職責に応じた給与構造への徹底や給与削減により、数値の改善を図る。

【実質公債費比率】
昨年度の数値と比較すると減少しており、類似団体と同じとなったが、県内団体と比較すると実質公債費比率は依然として上回っている状態にある。建設事業の整理・縮小(特殊要因を除く)を図り、数値の改善を図る。

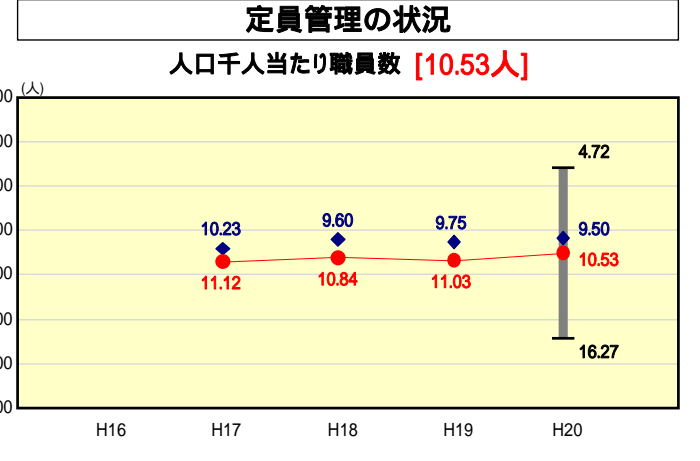
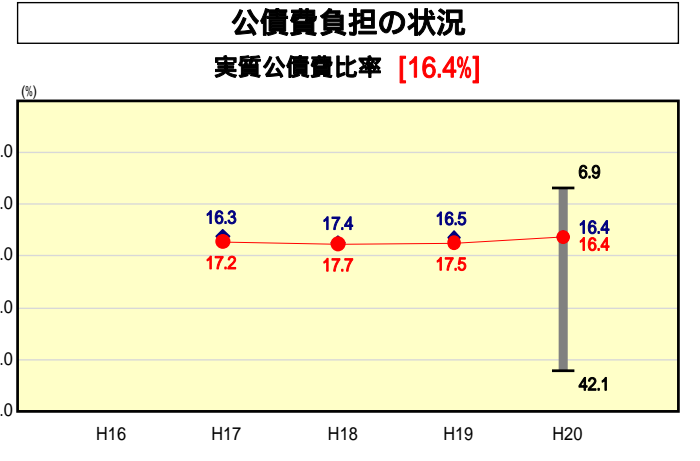
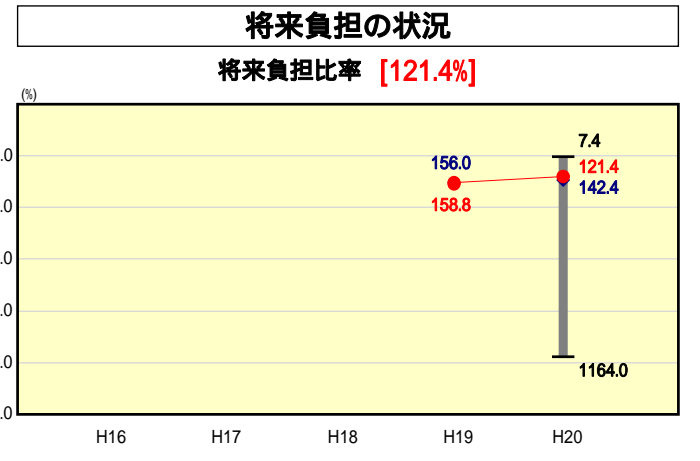
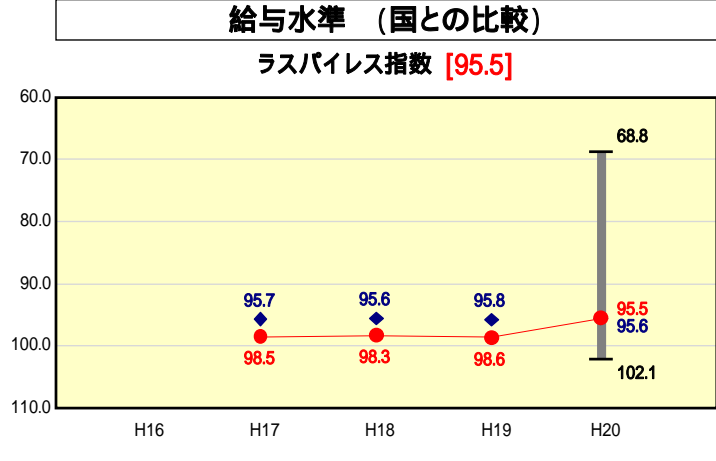
人口	31,525	人(H21.3.31現在)
面積	112.04	km ²
標準財政規模	8,848,948	千円
歳入総額	13,166,114	千円
歳出総額	12,654,645	千円
実質収支	415,344	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



【将来負担比率】
昨年度の数値と比較すると減少しているが、類似団体、県内団体と比較すると上回っている状態にある。今後は補償金免除繰上償還等による地方債残高の減や、財政調整基金及び市債管理基金の積立による充当可能基金の増額、退職者不補充による退職手当組合負担の減等により、数値の改善を図る。

【人口1,000人当たり職員数】
昨年度の数値と比較すると減少しているが、類似団体、県内団体と比較すると人口1,000人当たり職員数は依然として上回っている状態にある。更なる定員適正化計画に基づく職員数の減(40人)や事務事業の見直し(組織機構の再編・整備等)、指定管理者制度を引き続き導入することにより、事務効率化の促進を図る。

【人口一人当たり人件費・物件費等決算額】
昨年度の数値と比較すると減少し、類似団体を下回ることができたが、県内団体と比較すると人口一人当たり人件費・物件費等決算額は依然として上回っている状態にある。物件費は年々減少してきているが、人件費の減少について反映されないことが原因であると考えられる。集中改革プランを踏まえ、指定管理者制度の導入を引き続き進めることとし、コストの削減(目標額127百万円(5年間))を図る。

類似団体内順位 58/129
全国市町村平均 0.56
鹿児島県市町村平均 0.30

類似団体内順位 96/129
全国市町村平均 91.8
鹿児島県市町村平均 93.5

類似団体内順位 70/129
全国市町村平均 114,142
鹿児島県市町村平均 124,059

類似団体内順位 57/129
全国市平均 98.4
全国町村平均 94.6

類似団体内順位 54/129
全国市町村平均 100.9
鹿児島県市町村平均 89.5

類似団体内順位 67/129
全国市町村平均 11.8
鹿児島県市町村平均 13.2

類似団体内順位 83/129
全国市町村平均 7.46
鹿児島県市町村平均 8.94